

東北学院大学学術振興会 2024 年度事業計画

会長 大 西 晴 樹

1. 機関誌発行事業

2024 年度の機関誌発行は、振興会設立初年度であり制度を整備中であることを鑑み、年 1 回のみの発行とする。また、原則として 12 月募集・編集終了、2 月発行とするが、今年度については、各学部学科の計画を優先する。

なお、発行された機関誌は誌面を電子ファイル化し、本学学術情報リポジトリへ登録、公開するものとする。

2. 出版助成事業

2024 年度の出版助成は、8 月募集開始、9 月末募集終了、審査を経て 11 月初旬に採択者を決定する。なお、目標の申請件数を 6 件に設定し、制度の周知を積極的に進める。

3. 学生会員への支援事業

(1) 学会等参加（発表）補助

学会又は学術研究発表会において学生会員が発表する際の交通費及び宿泊費について、個人で上限 1 万円、グループで上限 5 万円まで補助する。2024 年度は 100 件を見込む。

(2) 機関誌投稿奨励金

学術振興会が発行する機関誌（論集）に学生会員が論文等を掲載された場合、奨励金を支給する。2024 年度は 20 件を見込む。（工学会からの申し送り事項）

4. WEB 出版システムの構築

指定のフォーマットで作成された原稿の投稿受付、剽窃チェック、投稿者と編集者のやり取りや論集の表紙や目次まで作成される WEB 出版システムを 2024 年度中に構築する。構築費用は、6,200,000 円、年間保守費用は、300,000 円を見込む。（学術研究会からの申し送り事項）

5. 学術研究会論集検索システムの構築

学術研究会にて、同会で発行した論集等を今後も本学の教育・研究推進に役立てるため、学術研究会論集検索・閲覧システムの構築に着手していたが、完成予定が 2024 年度となってしまうため、構築費及び今後の保守費、並びに改修費等を学術振興会の会計にて支出することの申し送りがあった。このことを受け、学術振興会の事業として 2024 年度中に学術研究会論集検索システムを構築することとする。（学術研究会からの申し送り事項）

6. 学術振興会ホームページの構築

学術振興会の各種制度の周知、学生支援金の WEB 申請、東北学院大学学術情報リポジトリへのリンク等、会員の学術振興に寄与することを目的として、2024 年度中に構築する。

7. 講演会事業

開催趣旨：ガソリンなどの化石燃料に代わる次世代燃料として注目を集める e-Fuel（化学合成燃料）の現状、将来性についての講演会を開催する。社会生活全般に関わる話題であり、工学部以外の学生にとっても興味を持って聞いてもらえる内容である。

講演タイトル：「資源問題から見た合成燃料の必要性」（仮）

開催日時：2024 年 10 月 22 日（火）15 時以降

講師：岡山 紳一郎 氏

所属：(株)モトリティ技術部長

ハルターマン・カーレス・ジャパン 合同会社 技術顧問

元日産自動車株式会社・カスタマーパフォーマンス&CAE・実験技術開発本部

法規・認証部 部長

経費：講師謝礼（33,411 円）のみ、旅費は不要

以上